

テントップ

ナミテントウ剤

Top

天敵

農林水産省登録第23357号

ナミテントウ剤

有効成分:ナミテントウ2齢幼虫 200頭/カップ

その他の成分:植物片

性状:淡褐色細片及び黒色幼虫

包装:600ml クラフト紙管(200頭入り)

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ナミテントウ2齢幼虫を封入した製剤である。
- 入手後直ちに使用し、使い切ること。
- 容器中でナミテントウ2齢幼虫が偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくり回転させて均一に混和させた後に、葉上へ少量に分けて圃場全面に放飼すること。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。なお、アブラムシ類の発生は均一ではないので、アブラムシ類密度の高い場所へ重点的に放飼することが望ましい。
- 天敵としてナミテントウ2齢幼虫が有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼することが望ましい。
- ナミテントウ2齢幼虫の活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けること。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理すること。

貯蔵上の注意事項

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- 通常の使用方法ではその該当がない。
- 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

- 通常の使用方法においてはその該当がない。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期
野菜類 (施設栽培)	アブラムシ類	10～13頭/m ²	発生初期
本剤の使用回数	使用方法	ナミテントウを含む農薬の使用回数	
—	放飼	—	

最終有効年月日

ラベル外に記載

販売

株式会社アグリセクト 茨城県稲敷市沼田2629-1

製造

株式会社アグリ総研 稲敷事業所
茨城県稲敷市沼田2629-1

